

議 事 録

会議の名称	令和2年度 第1回 愛荘町総合教育会議
開催日時	令和2年6月22日(月)午後3時00分
開催場所	秦荘庁舎2階 大会議室
出席者	<p>【構成員】7名</p> <p>町長 有村 国知、 副町長 石田 政則 、教育長 徳田 寿 教育長職務代理者 森 秀昭 教育委員 松浦 延代、中村 由香里、八島 琢磨</p> <p>【事務局】8名</p> <p>政策監(総務) 上林 市治 政策監(福祉) 岡部 得晴、 教育次長 青木 清司 生涯学習課長 陌間 秀介 図書館館長 茶谷 えりか 給食センター所長 本田 有弘 教育振興課 参事 岸邊 知子 教育振興課 主査 久保 泰代</p> <p>【傍聴者】1名</p>
議事日程	<p>協議・報告事項</p> <p>学力向上策の推進について</p> <p>「子ども読書推進・学校図書館活性化事業について」町立図書館職員 「秦荘東小学校“漢字音読名人”の取組について」秦荘東小学校 今村校長 「GIGAスクール構想にかかる一提案」秦荘中学校 稲葉教諭</p>
議事録作成者	教育振興課 久保 泰代
審議内容	午後3時00分開会
青木次長	ただいまから令和2年度第1回愛荘町総合教育会議を開催いたします。 はじめに有村町長からご挨拶をお願いいたします。
有村町長	皆様こんにちは。本日は第1回愛荘町総合教育会議にお越しいただきありがとうございます。教育に関係される全ての皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。今社会は大きく変革の中にあります。今日のお話の中にGIGAスクールもあり、テクノロジー、ICTの推進がますます実生活の中に入ってくる局面になっていると思います。先日新聞記事に、ここ4~50年は「もの」の貿易が進んだ時代であることに対して、これからは「サービス・人材」の貿易であるということが書いてありました。これは何かと申しますと、今までは商品が海を越えることが貿易でしたが、これからはその土地に居ながらその人材が持っている能力や資質というものがリモートの中で、ほかのマーケットから必要とされる、それぐらい人材の競争や、その方のニーズが世界に広がっていく時代を迎えてきているというものです。これからの愛荘町の若い世代も引き続き自分の望む将来・人生に近

	<p>い形の歩みをできるように、またその力を早いうちからつけてもらいたいと思います。</p> <p>また、7月から愛知中学校の工事に着手します。よい環境を皆様と共に築きたいと思います。また大人の私たちがより感性を高く、子どもたちによりよい環境を作り上げたいと思います。また人の歩みの中で私たちが学んできたこと、いろいろな痛みを通して知ってきたやさしさ、そういうことを子どもたちに引き続き見せていき、愛荘町の教育環境を皆様と共に築いていきたいと思います。本日皆様に出席いただけることに大変感謝申し上げます。どうぞよろしく願い申し上げます。</p>
青木次長	<p>ありがとうございました。それでは本年度1回目の会議でもございますので、町長から順次自己紹介をお願いいたします。</p>
	<p>—順次、自己紹介—</p>
青木次長	<p>ありがとうございました。本日はそれぞれ活発な意見をいただきしたいと思います。それでは会議に入ります。愛荘町総合教育会議設置要綱に基づき本日の会議を進めさせていただきます。</p> <p>次第にもございますように3つの事例発表ならびに問題提起をしていただき、そこで意見を深めて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>早速ですが、設置要綱第4条によりまして町長が議長になることから、会議の進行を有村町長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。</p>
議長（有村町長）	<p>それでは設置要綱に基づいて、議長を務めさせていただきます。</p> <p>次第3議題 協議事項、「子ども読書推進・学校図書館活性化事業について」にかかる意見交換です。茶谷館長および下村課長補佐より説明よろしく願いいたします。</p>
茶谷館長 下村課長補佐	<p>「子ども読書推進・学校図書館活性化事業について」 資料により説明</p>
議長（有村町長）	<p>委員の皆様からご意見やご質問等ございませんか。</p>
森委員	<p>森でございます。図書室に行きづらい子を図書室へ連れて行くのは大変難しい部分があります。しかしよく本を読む子はずっとそこにいるというようなこともあります。ここでは司書の方と指導員さんたちの大きな成果</p>

というよりもその方々と子どもの図書に対する気持ちがとても大切だと思います。今図書指導員は4小学校に1名ずつ配置されています。このように取り組んだときは図書室へ来る子が増えますが、だんだん減っていくという波があります。今後も図書室の利用増を持続化する必要があるので4校の指導員の方が情報交換の場をもたれているのかということを質問したいと思います。また学校あるいは指導員の図書館活性化についての意識が、この学校は強い、この学校はまあこの辺でいいでしょうというふうに差があると町内で足並みがそろわないので、4校の指導員が集まり最終的にこういうふうにしたいというような情報交換や、そこで得た情報をもとにして本の面白さを子どもたちに反映させてもらいたいと思います。また、一度本を面白いと感じると一定期間本から離れても戻ってくると思うので、中学生になり部活などで忙しくなる前に、本を面白いと感じさせてあげて欲しいと思います。また、図書館にある夢や希望・目標も併せて教えていただきたいです。

下村課長補佐

ありがとうございます。森教育委員には秦荘西小学校で校長をされていた時から色々とアドバイスを頂き、今のこの形があると思っております。情報交換ですが愛知川地域と秦荘地域4名揃って行くことは難しいですが、地域毎に1名バックアップする司書がおり、司書を通じて「こちらの学校ではこんな良い事例があります」ということを学校の図書主任の先生を含めてお話をし改善をしています。今年度ですと教育長にも相談し代本板を使っている学校の改善を行いました。良い取り組みをされている学校に合わせて行くことをバックアップし、司書と図書指導員一丸となって取り組んでいる状況です。またこの表を見て数字にばらつきがあると思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、先ほどもお話しさせていただいたように秦荘東小学校はコロナ対策の取り組みの中で子ども達がより良い形で利用できるような工夫や、愛知川東小学校では授業中の少しのわずかな時間でも図書室に行けるような取り組みなど、学校ごとの取り組みと合わせて、私たちの中でもよりよい学校に近づく取り組みについての工夫を行っていきたいと思います。中学校になってから少し本から離れるというご意見については私もいつもそれをどうしたらいいかと考えています。ただ森教育委員がおっしゃったように子ども時代に読書習慣がついている方は大人になって子どもを産んでからまた図書館に戻ってきていただく姿を何人も見かけています。今この学校図書館活性化の取り組みを通して読書習慣を身につけていただき、読書する子どもを育てるお父さんお母さんをたくさん愛荘町で作っていくということが私の取り組みをする上での目標です。

茶谷館長	ICT といっても子ども達には考える力が必要です。考えるためには言葉をたくさん持っていないと考えられません。言葉を身につけるためにはたくさん読書をする事で身につきます。1日10分でもいいので毎日続けていただいて習慣にしてもらい進路選択の幅の広がりや、良い人生を選んでもらえるようなことに繋げて行って欲しいと思います。ずっとこの取り組みを続けていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
議長（有村町長）	ありがとうございます。
八島委員	教育委員の八島です。まず読書でガチャコンの提案をいただいたのですが、これは町民にはどんなPRをされていますか。個人的に言えば町の広報誌の中に少しではなく大々的にPRしたら良いと思います。また期間が8月から2月末というのが中途半端に思えるので、するなら3月末や、もしくは6か月やってみて成果をみて検討するなどが良いと思います。それと学校ですが、10日ぐらいのデータを11ページに上げていただきますが4つの小学校で同一の指標を継続的に取ると良いと思います。というのは学校それぞれで人数が違いますので絶対人数ではなくパーセントのデータで4つの学校が見られると、それぞれどういう特徴があるとか、どこがいい悪いというのを後々反省し、次に生かして頂いたらよいと思います。おそらく1年ではまだ成果が出ないと思いますが、1年してダメではなく、継続していくことが大事だと思います。
茶谷館長	読書でガチャコンの期間ですが、学年ごとにたくさん読んだ子がいたら終業式に間に合うように何かプレゼントがあげられたらと思い、今は一旦2月末で切る予定をしております。ただ今おっしゃっていただいたように半年やってみてそこからもう1度検討することも大事だと思います。広報につきましてはできるだけ工夫をして皆さんに広く知られるようにしていきたいと思っております。
八島委員	広報に載せるつもりはあるのですかね？8月スタートで次回の全戸配布が7月20日とギリギリなので来月（7月）初旬に載せるなど早めに掲載し、参加対象者全員にしっかりPRしてどんどん参加者を増やすというふうにしてもらいたいです。
茶谷館長	はい、ありがとうございます。できるだけ広く知っていただけるようにしていきます。よろしくお願いいたします。
下村課長補佐	八島教育委員がおっしゃられた同一の指標ということについてお話を

	<p>させていただきます。現在4つの小学校には同じ図書館システムが入っております。貸出冊数に関しては学年ごとに出すことが可能ですが来館者数は来た児童を手計算しているので15分間の休み時間に100人程来ますので来館者数を学年別でというのは難しいと思います。貸出冊数や多読者に関しては同一の指標で出すことができると思います。同一の指標で出せるものに関してはきっちりと年度ごと月ごとにまとめていきたいなと思っております。</p>
八島委員	<p>数字を言っているのではなく、例えば学年別に行ったら違いましたとか、学校ごとでやったら違う等同じ指標で見たら成功している学校を参考にする等共通の指標で取っておいた方が良いということです。単にデータを蓄積するのではなくてそれを見てどう生かすか共通のデータにしてもらったらどうかということです。</p>
議長（有村町長）	<p>ありがとうございます。 さらに研究をしながら進めていっていただきたいと思います。</p>
教育長	<p>一点だけ補足をさせていただきます。資料の7ページをご覧ください。学力調査の中の児童生徒質問紙から見える子どもたちの現状がそこに現れています。どれぐらい読書をするかに関しては小学生で全くしないというのが1/4強、中学校で1/2強です。こういう子どもたちを少しずつ変えていきたいということで図書室に指導員を配置する取り組みをしています。</p> <p>次のページ8ページをご覧ください。今委員からもより頑張っているところを学んでそれを広げていくということをおっしゃっていただきましたが「あいしょう」の「う」のところで「家読・家学」で、家でも読書の機会が増えるといいなということで、そこにマイブックと書いてございます。これは児童机のフックのところに袋を置いておいてその中に本を一冊入れておくと、少し時間が空いた時にそこから取り出して読もうという取り組みを愛知川小学校発でスタートしています。こうしたよい取り組みを全町に広げていきたいと思っています。</p>
議長（有村町長）	<p>教育長どうもありがとうございました。 引き続きまして、秦荘東小学校 今村校長先生より説明をしていただきます。</p>
今村校長	<p>「秦荘東小学校“漢字音読名人”の取組について」 資料により説明</p>

議長（有村町長）	<p>今村校長先生ありがとうございます。秦荘東小学校の漢字音読名人という取り組みについてお話をいただきました。ぜひ皆様活発なご意見をお願いいたします。</p> <p>秦荘東小学校では何年目の取り組みになりますか？</p>
今村校長	<p>昨年からです。</p>
八島委員	<p>「学校別にいろんな取り組みをします。でも最低限ここまではしましよ う」という基準はありますか。</p> <p>東小で実践されていることをどういう基準でされるのかそれをはっきり決めておいて頂いた方が良いと思いますが、そういう基準はありますか。また、秦荘東小学校は2年されていますが、こういうのがいいのであれば全校すればいいと思いますがその辺はどこで仕分けをしているのですか。</p>
教育長	<p>ご質問ありがとうございます。当然基準になるのは学習指導要領の内容です。その中で山に登るのにいろんな方向ルートがあるのと同様に、秦荘東小学校の場合は校長先生が一つの方策を具体化されて今の「読み」から入っていくということを学校あげて取り組んでいただいているということです。今後どのように発展していくかということにつきましては秦荘東小学校のいろんな取り組みの成果をいろいろな所で紹介していただきたいと思っています。全て同じような形で統一するかは別にして、それを取り入れる例えば学校の学年があってもいいだろうし、その辺は幅の広い選択肢があればいいと思います。ただ大事なことはそこでのエキ스는是非ともみんなで共有すべきで、今までこの方法はいいに決まっているというふうに思っていた頭を柔軟に変えていく、そういうことで学び合うことが大切と思っております。</p>
議長（有村町長）	<p>ありがとうございます。学校によって計算ドリルに力を入れたいという学校もあるし、学校独自の取り組みの決定権は校長先生にあるということですか。</p>
教育長	<p>最終的に教育課程をどうするかということは校長が権限を持っています。今村校長の発表の中にもありましたが学校をあげての取り組みとなると全職員がこの取り組みの必要性や有用性を理解して取り組んでいくということが大事です。そのためそのペースにのって取り組んでいくという部分が大事ななと思いますし教育委員会としましてもこの取り組みを非</p>

	常に注目していることであります。しかし全ての学校で実践するかという ことは検討事項ではあり、先ほど申しましたように共有できるところは 大いに共有し、もっと違う方法も検討する必要があると思います。漢字音読 名人をアレンジした取り組みも出てくるかもしれませんのでそういう発 展の部分を期待したいと思っております
議長（有村町長）	ありがとうございます。 八島委員お願いいたします。
八島委員	学校独自の取り組みの決定権は校長ということですね。情報提供は教育 委員会が行うけれども、それを採用するかどうかは学習要項を最低限遵守 すればクラス・学校で何をするかは校長の判断ですよ。ということによろ しいですか。
教育長	そうです。
八島委員	わかりました。
議長（有村町長）	ありがとうございました。松浦委員ご意見ございましたらお願い致します
松浦委員	今村先生が良いと思われた東近江市の上野先生の取り組みを導入され たということで、良いことは町内の4校でも共有すればいいことですし、 学校独自の算数の方を伸ばそうと思っておられる学校はそれぞれに対応 されると良いと思います。漢字の方も町として伸びてきているというこ とが成果として出れば他の3校にも勉強していただく方向で町として案内し ていただけたらいいかと思います。 良い取り組みをされているということがよくわかりました。ありがとう ございます。
議長（有村町長）	ありがとうございます。 中村委員いかがですか。
中村委員	先ほどの図書館司書の感想と同じような事ですけども、子どもの学力 向上にすぐ直結するかは不明ですが、長い目で見て自分が大人になった時 にこんなことしたとか思い出に残るので是非継続して数年単位ではなく 長く続けてもらいたいと思います。また今回は漢字ですし先ほどは読書で すがそれだけにとどまらず学校でしか体験できない子ども達同士の関係 や、心の豊かさに繋がっていくのかなと、とても素晴らしい取り組みだと

<p>議長（有村町長）</p>	<p>感じます。学校の勉強だけでは足りないものが身につくのではないかなと期待しています。</p> <p>ありがとうございます。 森委員お願いいたします。</p>
<p>森委員</p>	<p>今村先生はかつて一緒に体育主任をしている時から僕らに思いつかないようなことを提案してくださり、子ども達をどう活かすかということに非常に研究熱心でした。それは十分今も生きています。ただ自分が非常に気にしているところがあります。それは何かといいますとメディアと読書というものを極端に分けてしまうか、両方を共存させるかということが頭の中で整理がついていません。確かに昼夜逆転とかゲームばかりしているという、活字から離れていくというのは以前から言われていることですのでやはり共存させるべきだと現役の時から思っていました。しかし 14 ページに書かれておりますようにメディアに接する時間をコントロールできる力を身に付けること、この仕分け部分が難しいと思います。例えばゲームをしているからメディア関係のプログラミングなどの応用力がある。ゲームをしている人はそれに対してものすごい頭の回転をさせているというようなことも言われております。</p> <p>ただ生活の乱れ、ゲームに入り込んで生活を乱れさせて自分の持っている力は十分だしきれないということと、逆にそれをどんどんどんどんプラスとして考えていくというそういう人たちは紙一重なのだろうなということも思っております。そこをどういうように子ども達にうまく伝えていくかということが大事なことだと思いますが先ほどの先生が言われた、読み書きから入って行ってそれが分かってこそ子どもでいうと教科、社会でいうとプログラミングなどが理解できると思います。そのためここに書いているように上手に活用できる力を子ども達に養って欲しいと思っております。そして我々は去年の分を見込んで今年はもう一歩進んだものしようとして校内研究を行ってきました。ここで一番大事なのはやはり 10 人の学校であろうが 50 人の学校であろうが 100 人の学校であろうが全校全員で取り込むということが重要だと思います。教師側もみんながそれぞれ自分の意見を出してひとつになってできるというものを大事にしていていただきたいなと思っております。それから最後に 3 年生の子が最後に「ありがとうございます」と言いました。これがスッと出てくるというのがものすごい力だと思っております。秦荘東から今村校長がいる間にまたいろんな意見を出して頂けるとありがたいと思います。また参考にもさせていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>

議長（有村町長）	<p>今全ての委員の皆様から発言をいただくことができました。ありがとうございました。中村さんからご発言いただいた勉強だけということではなく学校でしか経験できない心の豊かさに繋がるという素直な一言が、象徴的であったなと感じました。引き続き良い成果の共有を現場の皆さんにお願いできればと思います。ありがとうございました。</p> <p>引き続きまして GIGA スクール構想に係る提案に移りたいと思います。秦荘中学校稲葉先生どうぞよろしく願いいたします。</p>
稲葉教諭	<p>「GIGA スクール構想にかかるとの提案」について 資料により説明</p>
議長（有村町長）	<p>稲葉先生ご説明ご提案をありがとうございました。大学大学院でもこの分野の研究をされてこの4月から愛荘町に着任されました。伺いますと稲葉先生は GIGA スクールのご提案を現場の先生として担ってくださっているとのごです。皆様から是非ご意見ご質問をお願い致します。</p>
八島委員	<p>稲葉先生以外に町内に GIGA スクール構想に関して詳しい先生が何人おられますか？</p>
稲葉教諭	<p>今年度着任したばかりで他の教員研修もオンラインとなっております。共有というのが出来ず分かりません。</p>
八島委員	<p>では教育長、これから先を考えれば必要なことだと思いますが、ご提案いただいたことを稲葉先生1人ではできないし、これは継続しないといけないのと、相当な費用がかかると思いますので教育委員会の中に専門部署を作るぐらいのことを考えていかないといけないと思います。また、子ども達の質問に的確に答えられる程度のノウハウを持った先生を各学校に1名2名育成するというのを教育委員会が主導して進めるということも必要だと思いますのでよろしくお願いします。</p>
教育長	<p>はい。非常に大事なご指摘ありがとうございます。確かに八島委員がおっしゃるとおり GIGA スクール構想を進めていくためにはたくさんの方がいます。そのため今年度教育振興課にソフト面のサポートとして職員1名を配置いたしました。今後そういうソフトの面とハードの面を整備していくのにサポートする人材を複数名配置する予定です。また稲葉先生まではいかないまでも各学校にはそれぞれ若い世代の先生を中心に ICT を活用</p>

	<p>して頑張っていたいている方がおられます。そういう方々を中心に推進的な組織を形成し、そういう部分を核にしてどんどん進めていきたいと思っております。ハードの面の整備を支える人そして実際に授業に活用していけるソフトの面を支えてもらう人その両面で充実させていくことも教育委員会の仕事だと思っています。</p>
議長（有村町長）	八島委員よろしいでしょうか。
八島委員	はい
議長（有村町長）	ありがとうございます。
中村委員	<p>単純にお金があれば全て叶えるといいと思うのですが別にパッドではなくパソコンの方が安いのではないかと思います。また先生方がきちんと指導できるのかという心配もあります。あと何を求めているのかなというのが私には分かりません。ただ子ども達の好奇心はものすごく刺激され、将来プログラム系、コンピュータの世界に行きたいという子どもたちはとても増えると思いますが何が身に付くのかなと思います。現状ではノートがパッドになるという、情報がパッドに全部くるという受ける側しかなく、プログラミング教育というのに本当に繋がっているのかなという疑問もあります。やはり書くのが大事かなと思います。ある程度漢字も書ける読める状態になってから行うのと、まだ読みも書きもできない子ども達が先にパソコンやパッドを始めると、読み書きの力がつくのかなという心配もあります。バランスが難しいと思います。</p>
稲葉教諭	<p>先ほどご指摘いただいた読み書きの力ですが、この GIGA スクール構想は国から予算がつき学習環境を付与されているので、プログラミング教育は考える力を育成するための一つのツールとして活用するのがよいと思います。もちろんパソコン等で読み書きの充実ができるかという懸念もありますが、読み書きは今までの紙ベースの授業で養い、柔軟に考える力の共有や、さらにその意見を深めるツールとして ICT を活用するのが良いと思います。</p>
議長（有村町長）	<p>中村委員、稲葉先生ありがとうございます。ICT は今日的なツールですので、使わずに生きていくということではできないと思います。政府としても GIGA スクール構想を積極的に進めていきたいということで GIGA スクールとコロナ対策を経済対策の 1 つの柱としてされております。今年度愛荘町は現場からの強い要望を踏まえ Chrome や Windows ではなくて iOS を採</p>

<p>松浦委員</p>	<p>用することになっております。 松浦委員いかがでしょうか。</p> <p>先ほどは中村委員からお母さんの正直な声を聞かせていただき、教育委員会としても考慮していかなければならないと思います。しかし反面学校に来られない勉強が苦手な子がこれを使って遊びから勉強の方に進めていき、得意なジャンルになってくれたら大変良いことだと思います。しかし経費も大変かかりますし、能力のある方の育成も大変です。また分からない時にすぐ答えられるような体制作りをしないと進みませんので、いろんな問題が山積しますが、構想については良いことだと思います。IDとかパスワードの付与が大変ということも書いていますが、それはそれぞれ番号を振るなどして対応できると思います。またこれからもいろいろ検討していただいて先ほど申しました両面をクリアできるよう頑張っていたきたいと思います。ありがとうございます。</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p>松浦委員ありがとうございます。 森委員どうでしょうか。</p>
<p>森委員</p>	<p>これからの子どもたちはこういうものを使わなければ時代から乗り遅れるということが大きいと思います。実際コロナ禍になりテレワークや、オンラインで授業を受けるという方法も出てきました。少し前までほとんどなかったことが現在ではテレワークで事務所がいなくなるというような時代になっています。それに乗り遅れるということは子ども達にとっては不利になると思います。先ほども言われましたが苦手な子を作ってしまうとその後の修復はちょっと難しいと思いますし学校へ行きにくい子の学習方法についても研究の1つにおいておかなければならないと思います。アナログ人間からすると今の時代から乗り遅れないように子どもたちの教育を進めていっていただけたらと思いますよろしくお願いします。</p>
<p>議長（有村町長）</p>	<p>教育委員会としてもまさに未知の分野に乗り込んでいくことになるので相当覚悟をしないとイケないと思います。アンテナだけつけているのではなく現場でどのように広がっていくかなっていうことを私たちも見守っていかねばならないと思います。</p>
<p>副町長</p>	<p>今回多大な予算のGIGAスクール構想ですが、これからの学校の1日や授業がどういう風になるのかという全体像のイメージができない中で一人一台の端末導入が先行しているのが現状かなと思います。全国で端末の導入ということになりますが、導入前の今、全体像の説明が聞けてよか</p>

<p>議長（有村町長）</p>	<p>ったと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。町行政の多大な予算でございます。そのことは期待も込めて保護者の皆さんや生徒たちにも共有していきたいと思っております。今日の内容に関して、子ども達がアプリの使用や授業を受けることはスムーズにこなしていくと思っております。しかし文化祭・体育祭をする時にホームページを作成したり、チームの紹介をしたりチーム対抗のスコアをリアルタイムで共有できるようなディスプレイやモニターの構想、生徒会でのやり取りをモニターでの発信など、アプリの枠を越えてシームレスに出来るように導いてほしいと思っております。また枠にはめないような形でこういうことが得意なトップ集団にいる子どもたちには是非伸び伸びと「ここまで行っているのだ」「できるんだ」という達成感を味わわせてあげればあっという間に吸収すると思っております。</p> <p>それでは本日賜りましたご意見をしっかりと今後の教育政策に反映をさせていただきたいと存じます。皆様ありがとうございました。</p>
<p>次長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の読書というものに関しましては徳田教育長が就任され、一番キーワードにされているものです。また今のコロナ禍の中で拍車をかけたGIGAスクール構想については既に予算化措置をしておりまして今年度中に整備、来年度に入ってから実質活用という手順で進む予定です。また決まり次第逐次報告させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>今回の会議は11月を目処に日程を調整させていただきたいと思っております。例年ですと学校訪問をした後、意見交換を行っていますが今年度についてはコロナ禍の中取りやめし意見交換のみをさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは閉会にあたりまして徳田教育長の方からご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>本日は長時間にわたりまして教育に係る課題その中でも学力向上策につきまして情報共有あるいは意見交換を賜りましてありがとうございました。学力向上策というのはあゆみを止めることができない近々の課題でありコロナ禍の中においても粛々と進めていくべきものであるということでこのような形にさせていただきました。今日の3つの情報提供のうち学校図書館の取り組みそして今村校長牽引の秦荘東小学校漢字音読名人の取り組みは子ども達の実態に即し具体的な行動変移を促しながら基礎的読解力及び学力の向上へ導こうというものであると私は理解しております。その取り組みはある意味地味な取り組みかもしれませんがこうした取り組みが継続されることによって学力のベースが培われるというふう</p>

	<p>に確信し、現在小学校で進めております読解力ドリルの取り組みそしてこれから中学校で行いますリーディングスキルテストの取り組みなどいろいろリンクさせながら全町挙げて取り組みを進めてまいりたいと考えております。3つ目の秦荘中学校稲葉先生の提案は学力向上の取組を進めるにあたってICT機器の活用は子ども達の理解促進という観点で大きな可能性を秘めているということを改めて示唆いただいたことであると思えます。特に配慮を要する子どもたちにとりましてもまた授業改善に意欲を持っている教員にとりましても有効であり、そのためにも今回のGIGAスクール構想でどのような環境整備を行っていくかが本当に重要であると再認識させられたところです。</p> <p>さて現在のコロナ禍は生活様式だけではなく様々な価値観を変えようとしております。とかくマイナスに捉えがちな現況ではございますけれども今後も皆様と教育を幅広くかつ柔軟に捉え直し教育の質的向上につながる議論ができれば幸いです。なお本日資料の7ページまでの部分につきましては十分な説明ができませんでしたがご一読いただければ幸いです。本日は長時間どうもありがとうございました。</p>
青木次長	<p>ありがとうございました。本日発表して頂いたお三方にお礼を申し上げながら第1回の総合会議を終了させていただきたいと思えます。本日は大変ご苦労様でした。</p>
全員	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>午後4時45分 閉会</p>